

2023年7月21日

各位

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社



## 三菱HCキャピタル株式会社が発行するサステナビリティボンドの引受けについて

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社(取締役社長 小林 真、以下 当社)は、このたび、三菱HCキャピタル株式会社が発行するサステナビリティボンド<sup>(注1)</sup>(5年債、100億円、以下 本社債)の引受けにおいて事務主幹事を務め、本日、本社債の条件が決定されましたことをお知らせします。

三菱HCキャピタル株式会社は、経営理念の実現に向けて、“未踏の未来へ、ともに挑むイノベーター”を「10年後のありたい姿」に掲げ、グローバルな産業構造の変化、デジタル化の加速、サステナビリティの重要性の高まりなど、社会や事業環境の変化を先取りし、お客さま、パートナーとともに、社会的課題の解決に取り組んでいます。

本社債は、三菱HCキャピタル株式会社が、これらの取り組みを加速させる施策の一つとして2023年3月に策定した「サステナブルボンド・フレームワーク」(以下、本フレームワーク)に基づき発行されます。本フレームワークは、第三者評価機関であるサステイナリティクス社より、国際資本市場協会(ICMA)が策定した「グリーンボンド原則2021」「ソーシャルボンド原則2021」「サステナビリティボンド・ガイドライン2021」との適合性に対するセカンドパーティー・オピニオンを取得しています。

また、本社債で調達された資金は、グリーンビルディングの開発・取得における新規貸付・出資(リファイナンスを含む)、介護・診療報酬債権ファクタリング等に充当される予定です。

2006年に国連責任投資原則(PRI: Principles for Responsible Investment)が制定されて以来、世界のESG投資が拡大していることを受けて、資金用途を環境対策事業とするグリーンボンドや社会貢献事業とするソーシャルボンド、両方の特性を有するサステナビリティボンド、そして脱炭素社会への移行に関する事業を資金用途とするトランジションボンドの発行は増加傾向にあります。引き続き、当社は、企業・経済の成長と社会・環境との両立の観点から、ESGをテーマとした債券の引受けを一層推進するとともに、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

(本社債の概要)

名 称	三菱HCキャピタル株式会社第8回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)(サステナビリティボンド)
発 行 年 限	5年
発 行 額	100億円
利 率	0.454%
発 行 日	2023年7月27日
償 還 期 限	2028年7月27日
資 金 使 途	グリーンビルディングの開発・取得における新規貸付・出資 (リファイナンスを含む)、介護・診療報酬債権ファクタリング 等に充当予定
取 得 格 付	AA (株式会社日本格付研究所) AA- (株式会社格付投資情報センター)
主 幹 事	三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

(注1) 国際資本市場協会(International Capital Market Association:ICMA)が定義する「サステナビリティボンド・ガイドライン(Sustainability Bond Guidelines)2021」に則した債券

※SDGs債ロゴについて:SDGs債に対し、日本証券業協会により使用が認められています。SDGs債とは、調達資金がSDGsに貢献する事業に充当される債券や、SDGsの実現に貢献するKPI設定/SPTs達成型の性質を持つ債券で、環境・社会へのポジティブなインパクトを有し、一般的にスタンダードとして認められている原則に沿った債券や、事業全体がSDGsに貢献すると考えられる機関が発行し、インパクト(改善効果)に関する情報開示が適切になされている債券が含まれます。

以 上